

14時30分解禁

平成27年7月 全国百貨店売上高概況

平成27年8月19日

I. 概況

1. 売上高総額	5,612億円余
2. 前年同月比	3.4% (店舗数調整後/4か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	82社 238店 (平成27年6月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,049,920㎡ (前年同月比:-2.1%)
5. 総従業員数	77,717人 (前年同月比:-2.5%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	12-2月 -1.3%、1-3月 -8.6%、2-4月 -4.7%、 3-5月 -3.1%、4-6月 6.4%、5-7月 3.3%

[参考] 平成26年7月の売上高増減率は-2.5% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

7月は上旬まで全国的に天候不順が続いたが、中旬以降からの天候回復やクリアランス開始の変更などにより4か月連続のプラス。前年同月比で3.4%増となった。地区別では、シェアの高い東京(+7.2%)、大阪(+6.2%)、名古屋(+6.2%)など大都市を中心に売上を伸ばし、全18地区のうち12地区が前年を上回った。

商品別では主力の衣料品が、セール時期の見直しに加え、後半からの気温上昇により盛夏物などのプロパー商材が動いたことで2.8%増。身のまわり品(+8.5%)、雑貨(+15.6%)も増勢が続き、シェアの大きい食料品も1%減にとどまったのが注目される。

細分類では衣料品全般が堅調。紳士服(+1.7%)、婦人服(+2.6%)、子供服(+10.3%)、その他衣料品(+1.2%)が揃って前年を確保したほか、株高や賞与増に伴う消費マインドの向上、及びインバウンド効果などを背景に、化粧品(+18.4%)、美術・宝飾・貴金属(+22.3%)が都市部にとどまらずほぼ全地区でプラスとなっている。

訪日外国人の動向は、中華圏やASEANからの来店客中心に購買客数が185.1%増、売上高も248.7%増となり、本年4月に続き単月で過去2番目の実績(約185億円)を記録。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇上旬は梅雨前線が本州南岸に停滞し、東・西日本太平洋側では曇りや雨の日が多かった。中旬以降は太平洋高気圧の勢力が強まり北・東日本では晴れた日が多かったが、西日本では少なかった。16日には台風11号が高知に上陸、太平洋側を中心に大雨となった。

(2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日(〃 ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数137店舗)

①増加した：41店、②変化なし：38店、③減少した：58店

(5) 7月歳時記(中元、クリアランス、盛夏物商材)の売上(同上/有効回答数117店舗)

①増加した：18店、②変化なし：73店、③減少した：26店

全国百貨店 売上高速報 2015年07月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	561,209,654	100.0	3.4 (3.0)
10都市	382,549,777	68.2	5.1 (5.0)
札幌	13,377,092	2.4	3.5
仙台	8,150,246	1.5	0.5
東京	147,353,718	26.3	7.2
横浜	32,613,028	5.8	3.6
名古屋	37,123,743	6.6	6.2
京都	22,731,044	4.1	-5.3 (-7.5)
大阪	74,353,521	13.2	6.2
神戸	14,747,513	2.6	4.7
広島	12,996,078	2.3	1.7
福岡	19,103,794	3.4	5.9
10都市以外の地区	178,659,877	31.8	-0.1 (-1.0)
北海道	2,537,347	0.5	-2.9
東北	8,094,425	1.4	-1.6
関東	80,815,022	14.4	-1.1
中部	13,674,623	2.4	1.6
近畿	23,578,159	4.2	-0.4
中国	12,358,993	2.2	0.6
四国	9,641,584	1.7	-0.2
九州	27,959,724	5.0	3.1 (-2.9)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	561,209,654	100.0	3.4 (3.0)
紳士服・洋品	34,010,812	6.1	1.7 (1.4)
婦人服・洋品	117,347,450	20.9	2.6 (2.2)
子供服・洋品	11,911,942	2.1	10.3 (10.1)
その他衣料品	14,097,190	2.5	1.2 (0.5)
衣 料 品	177,367,394	31.6	2.8 (2.4)
身のまわり品	72,819,053	13.0	8.5 (8.2)
化粧品	32,718,819	5.8	18.4 (18.1)
美術・宝飾・貴金属	32,400,067	5.8	22.3 (22.1)
その他雑貨	19,507,205	3.5	2.3 (1.5)
雑 貨	84,626,091	15.1	15.6 (15.2)
家 具	6,216,543	1.1	-11.3 (-11.5)
家 電	1,314,900	0.2	-14.1 (-14.3)
その他家庭用品	17,131,613	3.1	1.5 (1.2)
家 庭 用 品	24,663,056	4.4	-3.0 (-3.3)
生 鮮 食 品	33,924,200	6.0	-1.8 (-2.5)
菓 子	41,336,427	7.4	-0.1 (-0.6)
惣 菜	32,464,389	5.8	1.2 (0.8)
その他食料品	62,992,778	11.2	-2.4 (-3.0)
食 料 品	170,717,794	30.4	-1.0 (-1.6)
食 堂 喫 茶	15,932,062	2.8	-0.2 (-0.5)
サ ー ビ ス	5,059,649	0.9	-3.0 (-3.3)
そ の 他	10,024,555	1.8	-6.1 (-6.6)
商 品 券	22,639,379	4.0	-5.2 (-5.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 5.1% (店舗数調整後／4か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -0.1% (店舗数調整後／2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	5.1	3.4	4か月連続プラス
札幌	3.5	0.1	2か月ぶりプラス
仙台	0.5	0.0	4か月連続プラス
東京	7.2	1.8	4か月連続プラス
横浜	3.6	0.2	2か月ぶりプラス
名古屋	6.2	0.4	2か月ぶりプラス
京都	-5.3	-0.2	2か月連続マイナス
大阪	6.2	0.8	4か月連続プラス
神戸	4.7	0.1	2か月ぶりプラス
広島	1.7	0.0	2か月ぶりプラス
福岡	5.9	0.2	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
北海道	-2.9	0.0	3か月連続マイナス*
東北	-1.6	0.0	2か月連続マイナス*
関東	-1.1	-0.2	2か月連続マイナス
中部	1.6	0.0	2か月ぶりプラス
近畿	-0.4	0.0	2か月連続マイナス
中国	0.6	0.0	2か月ぶりプラス*
四国	-0.2	0.0	2か月連続マイナス
九州	3.1	0.2	2か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品、雑貨が4か月連続、衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。また、食料品が2か月連続、家庭用品が4か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、その他家庭用品、惣菜が4か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	3.4	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	1.7	0.1	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	2.6	0.6	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	10.3	0.2	2か月ぶりプラス
その他衣料品	1.2	0.0	2か月ぶりプラス
衣料品	2.8	0.9	2か月ぶりプラス
身のまわり品	8.5	1.1	4か月連続プラス
化粧品	18.4	0.9	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	22.3	1.1	4か月連続プラス*
その他雑貨	2.3	0.1	4か月連続プラス*
雑貨	15.6	2.1	4か月連続プラス
家具	-11.3	-0.1	4か月ぶりマイナス
家電	-14.1	0.0	2か月連続マイナス
その他家庭用品	1.5	0.0	4か月連続プラス
家庭用品	-3.0	-0.1	4か月ぶりマイナス
生鮮食品	-1.8	-0.1	16か月連続マイナス*
菓子	-0.1	0.0	2か月ぶりマイナス*
惣菜	1.2	0.1	4か月連続プラス*
その他食料品	-2.4	-0.3	2か月連続マイナス*
食料品	-1.0	-0.3	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-0.2	0.0	2か月連続マイナス
サービス	-3.0	0.0	4か月ぶりマイナス
その他	-6.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
商品券	-5.2	-0.2	53か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成27年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成27年8月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,473億円余
2. 前年同月比	7.2% (4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭7.5%(90.8%) : 非店頭4.0%(9.2%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	856,715㎡ (前年同月比: 0.0%)
6. 総従業員数	19,084人 (前年同月比: -0.5%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	12-2月 1.7%、1-3月 -5.1%、2-4月 -0.8%、 3-5月 1.1%、4-6月 11.5%、5-7月 8.1%

[参考] 平成26年7月の売上高増減率は-1.4%

【7月売上の特徴】

- 7月の入店客数は上旬の天候不順により伸び悩んだが、中旬以降の天候回復とクリアランス時期の変更などをきっかけに盛り返し2%強のプラスとなった。
- 商品別では、主要5品目のうち衣料品(+5.1%)、身のまわり品(+15.5%)、雑貨(+24.4%)、家庭用品(+1.7%)がプラスを記録。食料品も序盤の雨天日やギフト前倒しの影響を受けながらも微減(-0.2%)にとどまり、総額では7.2%増と4か月連続で前年を確保した。
- 細分類では、子供服(+16.9%)、化粧品(+35.2%)、美術・宝飾・貴金属(+30.2%)が2桁増。シェアの大きい婦人服(+5.1%)が好調だったことや、紳士服(+4.0%)が堅調だったことで全体売上に貢献した。また、クリアランスの月ずれによる嵩上げに加え、開始時期をずらしたことでプロパー商品の販売期間が伸びたこと、期間の絞り込みで秋物展開を早めたことなどから衣料品全体の売上が増加した。
- 個別商材では、梅雨明け後に暑い日が続き、ジャケット、カットソー、ワンピース、男性用ショートパンツなどのほか、傘やサングラスなどのUV関連商品が好調だった。中元商戦については、6月が早期展開や商品強化、及び自家需要商品の堅調を受けて好調にスタートしたものの、期間計では微減に終わった。なお、インターネット受注については、各社とも通計で売上を伸ばしている。
- 8月については、16日現在で日曜日の1日増を含み、約12%増で推移している。

【要 因】

- 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
 - 増加した: 8店、②変化なし: 4店、③減少した: 5店
- 7月歳時記 (中元、クリアランス、盛夏物商材) の売上 (同上/有効回答数13店舗)
 - 増加した: 4店、②変化なし: 7店、③減少した: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2015年07月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	147,353,718	100.0	7.2
紳士服・洋品	11,134,298	7.6	4.0
婦人服・洋品	28,742,477	19.5	5.1
子供服・洋品	2,483,573	1.7	16.9
その他衣料品	3,212,811	2.2	1.2
衣 料 品	45,573,159	30.9	5.1
身のまわり品	21,697,168	14.7	15.5
化粧品	9,570,830	6.5	35.2
美術・宝飾・貴金属	9,748,072	6.6	30.2
その他雑貨	6,019,102	4.1	3.6
雑 貨	25,338,004	17.2	24.4
家 具	1,812,656	1.2	-12.7
家 電	729,937	0.5	4.8
その他家庭用品	4,757,504	3.2	8.0
家 庭 用 品	7,300,097	5.0	1.7
生 鮮 食 品	6,113,490	4.1	0.0
菓 子	10,207,024	6.9	0.5
惣 菜	7,759,827	5.3	3.1
その他食料品	14,721,742	10.0	-2.3
食 料 品	38,802,083	26.3	-0.2
食 堂 喫 茶	3,632,103	2.5	2.6
サ ー ビ ス	1,957,331	1.3	-5.8
そ の 他	3,053,773	2.1	-6.6

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	4,341,249 千円	-5.3
従 業 員 数	19,084 人	-0.5
店 舗 面 積	856,715 m ²	0.0

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品、雑貨、家庭用品が4か月連続、衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。また、食料品が4か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、紳士服・洋品、その他衣料品、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、その他家庭用品、惣菜が4か月連続、菓子が2か月連続、婦人服・洋品、子供服・洋品、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	7.2	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	4.0	0.3	4か月連続プラス
婦人服・洋品	5.1	1.0	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	16.9	0.3	2か月ぶりプラス
その他衣料品	1.2	0.0	4か月連続プラス
衣料品	5.1	1.6	2か月ぶりプラス
身のまわり品	15.5	2.1	4か月連続プラス
化粧品	35.2	1.8	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	30.2	1.6	4か月連続プラス*
その他雑貨	3.6	0.2	4か月連続プラス*
雑貨	24.4	3.6	4か月連続プラス
家具	-12.7	-0.2	2か月連続マイナス
家電	4.8	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	8.0	0.3	4か月連続プラス
家庭用品	1.7	0.1	4か月連続プラス
生鮮食品	-0.0	0.0	4か月ぶりマイナス*
菓子	0.5	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	3.1	0.2	4か月連続プラス*
その他食料品	-2.3	-0.3	4か月ぶりマイナス*
食料品	-0.2	-0.1	4か月ぶりマイナス
食堂喫茶	2.6	0.1	4か月連続プラス
サービス	-5.8	-0.1	4か月ぶりマイナス
その他	-6.6	-0.2	2か月ぶりマイナス
商品券	-5.3	-0.2	5か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>